

終了報告書

(報告年月日： 2017年 1月 31日)

－ 概要 －

留学プログラム名	ラジャマンガラ工科大学クルンテップ校交換留学
所属（本学）	経営学部経営学科 3年
学籍番号	14BF3004
氏名	穴井千尋
留学先国	タイ
留学先大学	ラジャマンガラ工科大学クルンテップ校
留学期間	2016年8月16日～ 2016年12月28日

－ 詳細 －

① 留学先大学の概略

形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年歴	春学期：1月～5月 秋学期：8月～12月
学生数	－
創立年	2005年
特徴	ラジャマンガラ工科大学クルンテップ校はバンコク市内にあり、インドネシア、カンボジア、中国、ベトナムなど東南アジアからの学生が多くいます。 英語プログラムが充実しており、マーケティングなどについて学ぶ事ができます。

② 留学前の準備

取得したビザの種類	EDビザ（学生ビザ）
ビザ取得方法	在日タイ大使館（東京）
アドバイス等	124日間の滞在でしたが、シングル（90日）でビザを取得しました。タイでビザ更新に行かなければならないのですが、シングルの方が安いのでシングルで取得しました。ビザ更新は留学先の先生がイミグレーションに連れて行ってくださいます。 なお、私は最初のビザ申請は、東京の大使館にて行いましたので、次の日にビザを受け取りに行く必要がなく家まで郵送してもらいました。

③ 留学中の勉学・研究

履修科目	履修結果に関する自己分析
International Marketing	マーケティングについて学びます。
Ethic in international marketing	倫理について学びます。
Personality Development Technique	心理学や基本マナーについて学びます。
Introduction International Marketing	レポートがあり大変だけどもためになりました。
General Reading	速読や読解力の力がつきました。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

最初はワット・ポーに行きました。王宮があり、ガイドさんに説明を聞きながら見学しました。他の国からの生徒とも一緒に行くので交流できるのでとても楽しかったです。王様が亡くなられた後も王宮に行きボランティアでゴミ拾いにも行きました。

休みの日にはシテイ・ピラー・オブ・シュラインに行きました。中国とタイの国交を記念して作られた大きなドラゴンがあります。中国に来たかのような場所で面白かったです。11月14日はロイクラトン祭りが毎年行われており連れて行ってもらいました。ろうそくを飾ったクラトン（灯籠）にお願い事をしたあと川に流しました。夜なのでとても幻想的で綺麗でした！

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

最初は授業で先生や生徒の話していることが全然聞き取れず、とりあえず一生懸命話を聞いて帰って分からなかった単語を調べて覚えての繰り返しでした。でも2か月ぐらい経ってなんとなく言っていることが分かるようになりました。それと話すのは元々得意ではなく、他国の子と話すのも初めてでした。でも中国人生徒やインドネシアの子たちと話した時に楽しく話せました。聞き取れないこともたくさんあったけどゆっくり話してくれたり、分かりやすい言葉に言い直してくれました。最初は挨拶や自己紹介でやっとでしたが、テスト前に勉強を教えてくれて一緒にテスト勉強もしました。中間テストでは自分の意見を全然書けませんでした。期末では中間よりも答案用紙を埋めることができたので少しは成長したなと思いました。

⑥ 留学先での住居

1) 留学中の滞在先（例：アパート、大学の寮の有無など）
アパート
2) 部屋の形態（例：個室、2人一室など）
個室
3) 申込方法（住居を探した方法）
大学から申し込んでもらい、月々の更新は各自で行いました。
4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
学校から歩いて10分で行くことができるし、コンビニもたくさんあるので特に困りませんでした。同じアパートに同じ大学の生徒もたくさん住んでいました。

⑦ 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (Baht)	円	備考
授業料	0B	0円	
宿舍費	約35,000B	約100,000円	月/約7000B (部屋代、水道代、電気代込)
食費	約6,000B	約20,000円	月/約7000B 昼食 約40B(学食) 夕食 約150B(外食)
図書費	0B	0円	
学用品費	約1,000B	約3,000円	制服(シャツ、スカート、ベルト、バッチ)
教養娯楽費	月5,000B	15,000円	月1,000B
被服費		0円	
医療費		0円	
保険費		80,000円	AIU海外保険
渡航旅費		55,000円	飛行機往復(1か月前に予約した場合)
雑費	2000B	6,000円	枕、ベッドシーツ、ブランケット、ハンガー
その他		—	お土産など
合計		約300,000円	

⑧ 留学先での語学状況

全て英語での授業でした。進むペースも速いので大変でした。
 授業はとりあえず聞くことに集中して分からない単語を全部ノートに書き留めて帰って全部調べました。毎日その繰り返しをして授業にはなんとかついて行っていました。
 タイ語は生活で最低限必要な言葉は調べて勉強しました。あとは生活してたら覚えました。タイ人の友達に教えてもらったりもしました。

⑨ 留学先で困ったこと(もしあれば)

お風呂のシャワーが水しか出ないので最初は辛かったですが、タイはとても暑いので慣れました！あとは特にありません。

⑩ 留学を希望する後輩へアドバイス

新しい環境での生活、授業は本当に緊張したし不安でした。特に私は英語力が乏しかったので..。でもタイの生徒たち、色々な国からの生徒たち、そして先生方みんな優しくて気さくでレポートやテスト勉強で困った時はいつも助けてくれました。英語で伝わらなくても覚えたり知っているタイ語を使ってみたりしたらタイの方も喜んでくれます！
 とにかくみんな明るくて親切で人の温かさを感じることができます。英語ももちろん勉強になりますがそれ以上に私は自分の経験や自信につながりました。帰る時にはすごく日本に帰るのが寂しくなりました。なので少しでも国際交流や留学に興味があるならぜひ新しい世界に挑戦するのもいいと思います！！

<参考>

ミャンマー生徒の welcome party



クラス風景



シティーオブ シュラインにて



Welcome party 集合写真

